

但馬県民局地域創生戦略(令和2年度～令和6年度)

令和5年度アクション・プラン

目指す姿p.1

取組の方向性p.1

主要施策

令和5年度但馬県民局政策体系p.3

主要政策・事業の概要p.5

但馬県民局

目指す姿

新型コロナウイルスの脅威が否応なしに日々の暮らしや社会のあり方に影響を与えている。このため、SDGs が掲げる誰一人取り残さない社会への変革を意識し、将来の夢や住民同士の対話、小・中・高校生の声をもとにして策定した地域ビジョンの以下の5つの地域像実現を目指す。

世界に誇る魅力を継承し、世界に輝く新たな魅力を創造する地域
垣根を越えた新たな人との交流・つながりを実現する地域
多様性を認め合い、誰もが輝き夢の実現にチャレンジできる地域
次代を担う若者や子どもたちがイキイキ育ち暮らす地域
生活環境が充実した暮らしやすい地域

取組の方向性

地域像実現に向けては、豊かな環境や特色ある農畜水産物、日本遺産等の但馬固有の資源を活用し、「住みたい」・「訪ねたい」地域としての魅力をより高める必要がある。

男女共同参画社会づくりの促進など、全ての人が個人として尊重され能力を發揮できる環境づくりに取り組むとともに、芸術文化観光専門職大学の開学や豊岡演劇祭の開催、劇団「青年団」の但馬移転等により新たに芽生えた“芸術の力”を生かした地域の強みを最大限に發揮し、地域の方々が地域への誇り、自信、そして愛着を持てる地域づくりを進めることが肝要である。

1【住んでみたい・住み続けたい但馬の創造】～緩やかに縮む人口対策～

(1) 環境創造・収益に繋がるブランド力強化 地域像

脱炭素社会の実現など新たな課題に対しての環境創造と、コウノトリ育む農法をはじめとする農林水産資源のブランド力向上支援により、地域資源を収益の増加に繋げ、但馬の魅力度向上を目指す。

(2) 地場産業の育成・強化 地域像

高度情報化への対応を促し、次世代を担う新規就労者を育成・確保することにより、地場産業の体力向上を目指す。

(3) 「但馬暮らし」の推進 地域像

但馬の魅力を情報発信するだけでなく、移住希望者に直接「但馬暮らし」を体験頂くことにより、魅力ある「但馬暮らし」を推進し、定住者の増加を図る。

2【行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築】～観光・交流の強化～

(1) 新たなツーリズムの戦略的推進 地域像

コロナ禍により旅のスタイルが変化したことを受け、但馬の恵まれた自然を活かした各種プロモーションを実施することで、交流人口の拡大と地域経済の活性化を図る。

(2) 地域資源の活用 地域像

山陰海岸ユネスコ世界ジオパークや日本遺産の認定を受けている鉱石の道など、地

域の中で育まれてきた地域資源を活用し、但馬への来訪者の増加、ひいては地域の活性化に繋げる。

(3) 地域外からのアクセス利便性の向上 地域像

鉄道利用の促進や高速道路ネットワーク整備の推進により、地域外からのアクセス利便性を向上させ、交流人口の増加を図る。

3【誇りたい・ふるさと但馬の再発見】～シビックプライドの醸成～

(1) 魅力ある地域環境の再認識 地域像

地域の方々に但馬の魅力ある自然環境を再認識して頂き、将来にわたる環境保全意識の醸成を図る。

(2) 暮らしの質を高める地域づくり 地域像

但馬の在住者や出身者の自主的な取組を支援することにより、住民が主体となった地域づくりを推進する。

(3) イメージアップ推進 地域像

インフラ整備等や住民の防災意識の向上等、ハード・ソフト両面の基盤づくりを推進し、将来にわたって安心安全に住み続けられる地域を目指す。

【目標】

数値欄の上段(網掛)は目標値、下段は実績値

KPI	R3	R4	R5	R6
販売農家数に占める新規就農者の割合	6.3‰		4.8‰以上	4.8‰以上
人口減に占める社会減の割合	38.7%		44.1%以下	44.1%以下
1人あたり観光GDP	6.90百万円		11.25百万円/人以上	11.25百万円/人以上
観光客入込数の増加数	277千人		153千人以上	153千人以上
住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合	68.2%		68.3%以上	68.3%以上
住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している、または参加したい人の割合	43.2%		46.7%以上	46.7%以上

主要施策

令和5年度 但馬県民局政策体系

【住んでみたい・住み続けたい但馬の創造】 ～ 緩やかに縮む人口対策～

(注)
・アンダーラインは新規施策(事業)
・ は本庁予算事業

環境創造・収益に繋がるブランド力強化



- 新 コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開
 - ・ 栽培面積拡大のための条件整備推進
 - ・ 認知度向上・販路拡大等によるブランド力強化
- 新 スマート農業技術の確立・定着・拡大
- 但馬産農産物のブランド力の向上
- 但馬牛の生産基盤強化対策の推進
- 拡
 - ・ 農業遺産「但馬牛」継承者の受入体制整備
 - ・ 耕畜連携流通システムの確立
- 地域経済を支える但馬水産業の再構築
- 拡
 - ・ 但馬産松葉ガニ統一キャンペーンの推進
 - ・ いか釣り漁業支援等沿岸漁業の振興
- 拡 ムラサキウニの駆除と有効活用に向けた技術開発
- 野生鳥獣被害対策の推進
- 新
 - ・ 但馬全体で連携した広域捕獲の実施
 - ・ 造林地でのシカ捕獲推進
- 新 食肉用シカ処理研修会の実施 等

地場産業の育成・強化



- 産業活性化の推進
 - ・ 但馬企業の販路拡大への支援
 - ・ 芸術文化観光専門職大学と連携したスタートアップ支援 等
- 地域の商業・商店街の活性化
- ものづくり産業・地場産業の支援
- 但馬産木材の販路拡大及び利用促進
- 新
 - ・ 原木輸出モデル事業の実証分析・効果検証
 - ・ 但馬産木材の利用促進 等
- 地域ぐるみの新規就農者の確保
- 新 新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援
- 農業生産基盤整備・維持保全への支援
- 沖合漁業船員の育成および定着促進

「但馬暮らし」の推進



- 但馬U・Iターン400人大作戦の展開
 - ・ SNS等を活用した情報発信
 - ・ 移住相談の実施
 - ・ 移住体験オーダーメイドツアー等の実施 等
- 「但馬で働こう」大作戦の推進
- 新
 - ・ 中高生・大学生に向けた情報発信
 - ・ 大学キャリアセンターとの意見交換会の実施

【行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築】 ～ 観光・交流の強化～

新たなツーリズムの戦略的推進



- 但馬の多彩な観光資源の再構築
 - ・ テーマ性をもったツーリズムの構築推進
 - ・ サイクルツーリズムの推進
 - ・ 兵庫DC・フィールドパビリオンを見据えた地域内周遊の促進

地域資源の活用



- 拡 「鉱石の道」を活用した地域の魅力づくりの推進
- 新 歴史トリップストーリーの作成
- ・ 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出 等
- 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進
- 拡 アート&ジオ共生事業
- ・ マーケティング戦略推進事業 等

地域外からのアクセス利便性の向上



- 拡 但馬地域鉄道利用の促進
- 基幹道路ネットワークの整備
- ・ 北近畿豊岡自動車道の整備促進
- ・ 山陰近畿自動車道の整備推進
- 主要観光地へのアクセス道路の整備推進
- コウノトリ但馬空港の利用促進

**【誇りたい・ふるさと但馬の再発見】
～シビックプライドの醸成～**

魅力ある地域環境の再認識



- コウノトリも棲める郷づくりの推進
- ・ ビオトープ等環境整備への支援
- ・ コウノトリ野生復帰PR事業の推進 等
- ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業

暮らしの質を高める地域づくり



- 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進
- ・ 但馬地域住民の芸術文化鑑賞機会創出
- ・ 管内市町等が実施する芸術文化振興事業への支援
- ・ 芸術文化施設・イベント情報発信事業
- 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援
- 地域活動応援事業（ワクワク但馬応援事業）の推進
- 但馬地域ビジョン2050の推進
- 地域の見守り力アップ作戦の展開
- 若年者や高齢者等への消費者教育の実施
- たじま消費者ホットラインの取組支援
- 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援
- 地域医療構想の実現と推進
- 精神障害者が障害者を支える基盤づくりの推進
- 但馬地域における介護職の職場定着支援
- 介護のイメージアップ促進

イメージアップ推進



- 地域ぐるみの新規就農者の確保(再掲)
- クリーン但馬10万人大作戦の推進
- 介護のイメージアップ促進(再掲)
- 安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり
- 災害に強い森づくり、農山村づくりの推進
- 地域防災力の充実・強化
- 日本海津波対策の推進
- 風水害対策の推進

但馬県民局の主要政策・事業

【住んでみたい・住み続けたい但馬の創造】

～緩やかに縮む人口対策～

環境創造・収益に繋がるブランド力強化

コウノトリ育む農法をはじめとする環境創造の取組を活かした、農林水産資源のブランド力向上を支援することで環境を収益に繋げるとともに「たからじま但馬」の魅力向上を目指す。

- 1 コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開 10,905千円(P1)
環境創造型農業を進め、多様化する消費者ニーズへの適応や付加価値・品質の向上、農作業の省力化を推進し、「育む農法」の取組拡大を図る。
 - (1) 育む農法推進に係る課題解決のための技術実証
品質向上や省力化、新品種（多収穫品種）の栽培及び施肥体系確立等に向けた技術実証ほの設置
 - (2) 育む農法取組拡大に向けた生産条件整備（コウノトリ育む農法拡大条件整備事業）
 - ア 取組を拡大する生産者・団体等への栽培経費支援
 - イ 育む農法（無農薬栽培等）に必要な共同利用機械・施設等の導入に対する支援
 - (3) 育む農法の更なる認知度向上や販路拡大等によるブランド強化
 - ア JAたじまが実施するPR活動への支援
 - イ 有機JAS等第三者認証の取得支援
 - (4) コウノトリ育む田んぼ塾の開催
栽培技術レベルの高い農業者（育む農法アドバイザー）による栽培初心者等への指導により円滑な技術習得を推進

2 (新)スマート農業技術の確立・定着・拡大 2,000千円(P2)

但馬地域では、新規就農者の確保、集落営農組織の法人化等が進みつつある一方、農業従事者の高齢化が進み、担い手の確保が困難となっている。限られた労働力での生産性向上や効率化、作業の平準化等を図るため、先端技術を積極的に活用したスマート農業技術の確立・定着・拡大を図る。

(1) ほ場条件や作物に対応したスマート農業技術確立・定着・拡大

技術確立実証ほの設置

経営実験大規模実証ほ設置

(2) 地球温暖化に対応した栽培管理技術の確立

環境モニタリング機器の導入・データ収集

3 但馬産農産物のブランド力の向上 5,961千円(P3)

但馬地域には、高品質で独自性があり、商標権を持った有望な特産農作物が多数存在している。ブランド力の向上による販売価格向上、生産コスト低減を進め儲かる農業の実現を図る。

(1) たじまピーマン〔地域団体商標〕

拍動灌水装置及び畝立て機等の導入支援

(2) なしおとめ〔商標〕

新規栽培者の受入体制整備と増産、百貨店等販売先での知名度向上のためのPR活動を支援

(3) 美方大納言小豆〔商標(商標名:美方ルビー)〕

優良種子の確保に向けた種子生産体制強化のため採種ほを設置

(4) 朝倉さんしょ〔地域団体商標〕

増産に向けた新植や改植、有利販売に向けた他産地との差別化のためのPR活動を支援

(5) 岩津ねぎ〔商標〕

積雪被害の軽減に向けた新たな雪よけ技術の効果検証

(6) えだまめ(ひかり姫等)〔商標(ひかり姫等)〕

地域に適した栽培方法の確立と認知度向上に向けた活動

4 但馬牛の生産基盤強化対策の推進

7,525千円(P4)

農業後継者・新規参入就農者の確保に向け、飼養環境、労働環境等の改善を支援するとともに、耕種農家と畜産農家の連携による堆肥需給調整を推進する。また、美方郡産但馬牛システムの世界農業遺産認定を目指し、観光産業と連携した地域の活性化を推進する。

- (1) 農業遺産但馬牛システムの継承者の確保に向けた受入体制整備
- (2) 中・小規模生産農家の生産性向上、労働環境改善等のための牛舎改修
牛舎整備、機器導入、ICT技術活用への支援
- (3) 但馬牛耕畜連携流通システムの確立（堆肥の広域流通）
 - ア モデル地区における堆肥流通体制の構築
 - ア 散布機器導入支援
 - (イ) 散布運搬・散布経費の支援
 - イ 耕畜連携を推進するための取組に対する支援
- (4) 美方郡産但馬牛の世界農業遺産認定推進
 - ア 世界農業遺産認定に向け、推進協議会運営への支援
 - イ 観光産業等と連携した活性化
 - ア 但馬牛PRへの支援
 - (イ) 但馬牛の美味しさの秘密や歴史等の魅力を来訪者等に伝える「但馬牛アンバサダー」の育成
 - ウ 放牧風景の提供、拡大への支援

5 地域経済を支える但馬水産業の再構築

6,000千円(P5)

沖合・沿岸の漁業種類やズワイガニなどの魚種に応じた対策を進めることで、年間を通じて魅力ある但馬産水産物を提供できる体制を整備するとともに、漁業被害を起こすおそれのあるムラサキウニの大量発生を抑える取組や養殖技術の改良等の支援を行う。

- (1) 但馬産松葉ガニの統一キャンペーンの推進
「但馬産松葉ガニ」のさらなる魅力発信と需要取込みのための活動を支援
- (2) いか釣り漁業支援等沿岸漁業の振興
効率的なイカ釣り操業のため、漁場探索調査を実施
- (3) 拡ムラサキウニの駆除と有効活用に向けた技術開発
 - ア ムラサキウニの駆除
 - イ 養殖技術の改良・普及及び加工品の開発

6 野生鳥獣被害対策の推進

1,155千円(P6)

有害鳥獣捕獲や防護柵設置などの対策を推進しているが、農林業被害は依然深刻な状況である。捕獲体制の強化を図るため、市町間連携による捕獲を進めるとともに、森林組合を中心とした捕獲を行う仕組み作りを行い、シカ生息密度の低減を図る。また、捕獲したシカを食肉用に利用する技術を高めることで、狩猟者の捕獲意欲向上を図る。

さらに、漁業被害の大きいカワウについて、広域的かつ計画的な対策を実施する。

(1) 但馬全体で連携した広域捕獲の実施

周辺の有害捕獲実績等を基に、広域捕獲の場所を選定し、捕獲班の編制、市町有害捕獲許可の調整を行い、広域捕獲を実施

(2) くくりわなの捕獲技術講習

わな猟初心者を対象に講習会を実施

(3) 広域的カワウ対策体制の構築

市町や内水面漁協が連携し、捕獲や調査を実施

(4) 造林地での捕獲推進

造林地周辺での捕獲体制構築に向け、森林組合にくくりわなを貸与

(5) 新食肉用シカ肉処理加工量増加対策

食用利用の促進のため、狩猟者を対象に血抜き講習会の実施

地場産業の育成・強化

次世代を担う新規就労者を育成・確保することにより、但馬の優れたものづくり産業や農林水産業の体力向上を目指す。

- 1 産業活性化の推進 3,743千円(P7)

但馬企業の生産性や全国的な認知度向上、地域産業の事業継続など産業の流動性を高めるための支援事業を実施し、また顕彰事業や県施策を広報する機会を通じて但馬の産業体制の底上げを図る。

 - (1) 商工会議所・商工会と連携した但馬産業の総合支援事業
但馬企業の販路拡大支援
 - (2) 関係団体と連携した但馬企業の応援事業
 - ア 芸術文化観光専門職大学との連携によるスタートアップ支援
 - イ 但馬産業大賞による企業顕彰
 - (3) 労働力確保への支援
商工関係団体等と連携・協力し、経営者向け啓発セミナーを開催

- 2 但馬産木材の販路拡大及び利用促進 741千円(P8)

資源循環型林業の推進に向けて、但馬材の木造住宅等への利用拡大とともに、新たな販路拡大に向けた取組を支援する。

 - (1) 原木輸出モデル事業の実証分析・効果検証
海外需要に関する情報収集や西舞鶴港からのコンテナ船による原木輸出モデル事業に取組む管内森林組合等への支援
 - (2) 但馬産木材の利用促進
兵庫県等が開発した技術やソフトの活用を促進するため、建築士、工務店を対象に研修会を開催

- 3 地域ぐるみの新規就農者の確保 650千円(P 9)
但馬地域外からの新規就農者を確保するため、但馬での就農の魅力を伝える情報発信コンテンツの充実や、新規就農希望者を但馬地域へ呼び込むイベントを開催する。
- (1) ブランディングムービーの活用
- (2) 直に感じるバスツアーの実施
但馬の魅力を直に感じ、先輩農業者から直接話を聞ける「営農タイプ別のコース(2コース)」を設定し、開催
- 4 (新)新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援 300千円(P 10)
高齢化による農村地域の機能維持が困難な集落と但馬牛繁殖農家を志向する新規参入者をマッチングさせ、集落機能の維持と新規参入者の畜産用地の確保を図る。
- (1) 支援集落の抽出
新規参入の検討可能な集落でのアンケート調査
- (2) 集落とのマッチング・新規参入者の募集
- ア 繁殖農家が新たな集落の一員となることで得られるメリットの説明
- イ 受入条件の検討
- ウ 条件に即した新規参入者の募集
- 5 沖合漁業船員の育成および定着促進 8,260千円(P 11)
沖合漁業への就労を希望する新規就業者を育成し、定着促進を図るため、現場研修等に要する経費の一部を支援する。

「但馬暮らし」の推進

但馬の魅力ある企業を情報発信するとともに、移住希望者に直接「但馬の暮らし」、「但馬の仕事」を体験してもらうことで但馬を肌で感じてもらい、定住人口の増加につなげる。

1 但馬U・Iターン400人大作戦の展開 9,461千円(P12)

但馬の多様な魅力とU・Iターン関連情報を市町と協力しながら総合的に発信することで、但馬の知名度の向上とU・Iターン等による定住促進を図り、但馬地域へのU・Iターン数年間400人を目指す。

(1) 情報の効果的な発信及び移住相談員の配置

ア 移住相談員による親身になった相談の実施

イ 移住に役立つ但馬の情報を効果的に発信

ウ SNSによる若者への情報発信強化

(2) 移住相談会等の実施

(3) たじま移住体験オーダーメイドツアー等の実施

ア 移住希望者の要望に対応する移住体験ツアーを実施

イ 先輩移住者や地元企業(職場体験)の案内など、住まいや仕事探しをワンストップで支援

(4) 移住者受け入れ体制の強化

(5) 住まいの確保事業(空き家相談会の実施)

2 「但馬で働こう大作戦」の推進 2,681千円(P13)

但馬の魅力ある企業、産業や豊かな自然を活かした但馬暮らし等の魅力を総合的に発信し、若者の地元就職やU Iターンを推進する。

(1) 中高生への情報発信

ア 但馬企業紹介ホームページ「たじまが好き。」の運営

若手従業員を中心に、地元企業・地元就職を決めた理由などを掲載し、但馬地域の中学・高校にキャリア教育の一環として活用を図り、若年層の地元企業認知度向上と地元就職を推進

イ 高校生への但馬の魅力発信の継続

ウ 保護者への企業情報等の発信強化

(2) 大学生等に対する情報発信

ア 市町や高校と連携した大学3回生等への企業情報等の発信

イ オンライン等での但馬合同企業説明会、合同就職面接会の開催

ウ 主要大学キャリアセンター担当者と但馬企業との意見交換会の実施

【行ってみたい・活気に満ちた但馬の構築】
～ 観光・交流の強化～

新たなツーリズムの戦略的推進

兵庫DC、万博を見据えて但馬の恵まれた自然を活かしたツーリズムや多様化する旅行者のニーズをつかむ新たな観光資源を幅広く発掘、発信、各種プロモーションを実施することで、交流人口の回復と地域経済の活性化を図る。

1 但馬の多彩な観光資源の再構築 23,066千円(P14)

旅行者ニーズの多様化に対応する土壌を育み発展させ、新しい観光ニーズの掘り起こしを行い但馬地域の観光消費額を増加させる。

(1) 多彩な観光資源の再構築

ア テーマ性をもったツーリズムの構築推進

但馬の潜在的な観光資源の掘り起こしを行い、着地型体験コンテンツの充実やそれに関わる人材の育成などを中心に支援し、但馬地域で新しいツーリズムの浸透を推進

イ 但馬ツーリズム情報の積極的発信

兵庫DCの効果を万博に向けて継続させることを軸に、ひょうごフィールドパビリオンなどを意識した観光コンテンツの国内外への広報・周知事業を強化し、「観光地但馬」の露出度の向上を推進

(2) 連携による周遊観光の推進

ア 但馬観光協議会との連携

イ 圏域を越えた関係団体との連携による交流人口拡大の推進

(3) サイクルツーリズムの推進

ア 新しいツーリズムの創出

モデルルートを活用したイベント等の開催

イ サイクリストの受入環境の整備

- ・サイクルスタンド整備やメンテナンススペースの確保などの支援
- ・走行環境整備のための舗装修繕やトンネル照明のLED化

(4) 二次交通の充実・利用促進に向けた支援

ア 夢但馬周遊バス「たじまわる」の継続運行

DC 期間中の特別企画と利用促進対策を実施

イ 兵庫DC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進

観光客の二次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ二次交通の充実を推進

地域資源の活用

日本遺産の認定を受けている鉱石の道やユネスコ世界ジオパークに認定されている山陰海岸ジオパークなど地域の中で育まれてきた資源を活用し、但馬の魅力を醸成する。

- 1 「鉱石の道」を活用した地域の魅力づくりの推進 5,327千円(P16)
中瀬、明延、神子畑、生野の4鉱山の近代化遺産を点から線へとつなぐ「鉱石の道」として、行政・各種団体・企業等との連携により、地域資源の活用と地域活性化を図る。
 - (1) 新歴史トリップストーリーの作成
日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」の構成文化財と、竹田城跡や城崎温泉などの周辺施設を関連付けた歴史を掘り起こし、全県縦断ルートで構築する魅力的なストーリーを作成し、誘客促進及び関係地域のブランディングを推進
 - (2) 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出
地域団体や事業者等が鉱山遺産以外の付加価値となる食や宿泊、体験等の魅力を掘り起こし、「稼ぐ仕組み」を創出する取組に対して支援
 - (3) 連携等による地域活性化の推進
- 2 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進 10,270千円(P17)
3府県にまたがる山陰海岸国立公園を中心としたエリアの活性化と産業振興、保護保全、教育など各分野にわたるジオパーク活動を継続的に実施し、ジオパークエリアの活性化と持続可能な地域社会の形成を推進する。
 - (1) 産業振興・ツーリズム
 - ア 拡アート&ジオ共生事業
 - イ マーケティング戦略推進事業
 - ウ ジオパークトレイル活用事業 等
 - (2) 保護保全活動の推進
 - (3) 教育・調査研究
 - (4) 情報収集・発信

地域外からのアクセス利便性の向上

基幹道路ネットワークの整備を推進し、地域外からのアクセス利便性を向上させるとともに、鉄道の利用促進に取り組み、地域の足の維持、交流人口の増加を図る。

1 但馬地域鉄道利用の促進 5 4 0 千円(P 18)

重要な社会インフラである鉄道を維持するため、沿線住民等の鉄道利用を促進するとともに、地域資源の掘り起こし・活用により鉄道を利用した来訪者の増加を図る。

(1) 利用意識の醸成

ア 新途中下車ウォーキングイベントの実施

「たじま途中下車の旅ブログ」に掲載しているマップのコースを訪ね歩く、駅周辺の探索ウォーキングを実施

(2) 交流人口の拡大による利用促進

ア レンタサイクル利用補助の実施

京阪神からの鉄道利用者に対するレンタサイクル利用補助を実施し、2次アクセスを充実

(3) 鉄道の魅力発信による利用促進

ア 「車両基地見学会」の実施

鉄道を身近に感じられるイベントを実施

2 基幹道路ネットワークの整備(土木部) (P 19)

「基幹道路八連携軸」を構成する北近畿豊岡自動車道(国直轄事業)と山陰近畿自動車道(県事業)の整備を推進する。

(1) 北近畿豊岡自動車道の整備促進

(2) 山陰近畿自動車道の整備推進

【誇りたい・ふるさと但馬の再発見】

～シビックプライドの醸成～

魅力ある地域環境の再認識

但馬の豊かな自然が世界に誇れる素晴らしい資源であることを但馬の住民自身に再認識してもらい、シビックプライドの醸成につなげるとともに、将来にわたる環境保全を図る。

- 1 コウノトリも棲める郷づくりの推進 1,428千円(P 20)
コウノトリ野生復帰推進計画の基本方針に基づき、野生復帰を推進する。
 - (1) コウノトリ野生復帰の環境整備
 - ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催
 - イ ビオトープ等環境整備への支援
水田ビオトープや魚道等の環境整備、人工巣塔設置に係る経費の支援
 - (2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進
 - ア 地域団体が行う野生復帰事業のYouTube発信

- 2 ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業 1,946千円(P 21)
兵庫県下で唯一ラムサール条約登録湿地である円山川下流域の湿地・周辺水田で生物調査や保全活動などの環境学習を経験することにより、但馬の豊かで美しい自然環境を次世代に残していくための人材育成につなげる。
 - (1) 戸島湿地等の調査・保全活動
 - (2) 活動発表会の開催

暮らしの質を高める地域づくり

住民自らが主体的に取り組む地域づくりを支援し、但馬の暮らしの質をより高めることにより、但馬の住民が住み続けたいくなるような地域づくりを推進する。

- 1 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進 7,057千円(P 22)
芸術文化観光専門職大学等と連携して事業を行い、芸術の魅力あふれる地域づくりを推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。
 - (1) 但馬地域住民の芸術文化鑑賞機会創出
質の高い音楽イベントの開催に向け、但馬の市町・ホール等の連携を強化
ア 但馬国際音楽祭(仮称)実行委員会の設置・運営
 - (2) 管内市町等が実施する芸術文化振興事業への支援
市町等が実施する芸術文化振興事業への経費の支援
地域団体等が実施する事業へは、地域活動応援事業(ワクワク但馬応援事業)により支援
 - (3) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

- 2 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援 1,060千円(P 23)
大学生や但馬地域で地域活動実績のある大学卒業生等における継続的な活動や、自分たちの地域に愛着を持ち、地域貢献する意欲を有する高校生の活動を支援する。
 - (1) 大学生及びOB等のグループ活動支援
大学生や但馬で地域活動実績のある大学卒業生の社会人等で構成するグループが行う、暮らしの中の課題解決やにぎわいづくりなどの活動に対して支援
 - (2) 高校生グループ活動支援
但馬の高校生グループが地域づくりに取り組む集落等と連携した活動に対して支援

- 3 地域活動応援事業(ワクワク但馬応援事業)の推進 8,295千円(P 24)
但馬地域ビジョン 2050 がめざす未来の姿の実現に向け、地域の活性化や課題解決に取り組む団体の活動を支援する。

- 4 但馬地域ビジョン 2050 の推進 3,801 千円(P 25)
県民主役のビジョンを実現するため、30 年後の次世代を担う若者に向けて普及啓発を行い、地域の未来について考える場づくりを展開する。
- (1) 但馬地域ビジョン 2050 の普及啓発
- ア 出前講座の実施
 - イ ホームページによる情報発信・P R
 - ウ 広報地域協働推進員の設置
- (2) たじま交流フェスタの開催
地域の未来を考え話し合う、たじま交流フェスタの開催
- 5 地域の見守り力アップ作戦 400 千円(P 26)
次世代を担う但馬の青少年を地域で守り、育て、温かく見守るという意識を醸成するとともに、警察や学校、地域団体等と連携し、青少年の非行化防止や健全育成に取り組む。
- (1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施
- (2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施
- (3) 適切なインターネット利用への啓発活動
- 6 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援 1,157 千円(P 27)
豊かな自然に恵まれた但馬地域で暮らす人々の安全安心な生活環境を守るため、環境保全活動等への支援と、失われつつある自然環境の再生と啓発に係る事業を実施する。
- (1) 環境保全等の活動への支援
- (2) 拡 自然環境再生・啓発事業
- 7 地域医療構想の実現と推進 111 千円(P 28)
地域完結型医療への転換に向け、効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するとともに、医療従事者が定着するための環境づくり、公立病院間の連携強化を進めるための病床機能の再編、病院間の連携体制の構築を図るため、但馬圏域が一体となった取組を進めていく。
- (1) 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会（地域医療構想調整会議）の開催
- (2) 但馬圏域医療機関等連絡会議の開催
- (3) 但馬圏域公立病院ワーキング会議の開催

8 精神障害者が障害者を支える基盤づくりの推進 829千円(P 29)

精神障害者が自分らしく地域で暮らすことをめざし、自身の強みを活かした障害者支援(ピアサポート)を多様な場面で実施できるようにするため、高等学校での健康教育や農福連携等活躍場面を拡大するとともに、障害者・高齢者への在宅生活支援の取組を進める。併せて、共生社会の実現に向け、様々な機会を捉えて地域住民に対して普及啓発を実施する。

- (1) 精神障害者地域移行・地域定着推進協議会及び戦略会議の開催
- (2) 地域支援者向け研修会の開催
- (3) 当事者支援事業へのピアサポーターの派遣
- (4) 精神保健福祉に関する普及啓発

9 但馬地域における介護職の職場定着支援 529千円(P 30)

但馬地域における介護職の職定着を促進するため、「介護職の離職等に関する実態調査(平成30年度 但馬長寿の郷実施)」を踏まえ、介護現場での身体的・精神的負担を軽減する基本的介護技術の習得を支援するとともに、本事業の効果について調査する。

- (1) 身体的・精神的負担を軽減する基本的介護技術の習得支援
 - ア 施設勤務のリハビリテーション専門職を対象とした介護技術の指導力アップ研修の実施
- (2) 新特養を対象とした事業効果調査(H30年度実施した調査との比較)
 - ア H30~R4年度まで本事業で実施した事業の効果測定
 - イ 調査項目:教材活用率、福祉用具の導入率、腰痛者数、離職者数等

イメージアップ推進

住民自らが環境美化保全活動に取り組み、将来にわたって安心安全を実感できるような地域をめざすとともに、但馬の主要産業である農畜水産業のイメージを高めるなど但馬のイメージアップに努める。

- 1 地域ぐるみの新規就農者の確保(再掲)
ブランディングムービーを活用した就農促進・P R
- 2 クリーン但馬 10 万人大作戦の推進 5 1 4 千円(P 31)
但馬地域の環境美化の推進を目的とし、地域団体、住民等が一体となり、不法投棄防止活動の充実を図り、環境美化県民運動を展開する。
 - (1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進
 - (2) 海岸漂着ごみ対策の推進
- 3 安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり 5 0 千円(P 32)
耕作放棄地の増加による地すべりの誘発が懸念されており、地すべり防止にはハード・ソフト対策に加え、適切な農地管理(農作業)が非常に重要である。農作業の手助けを行う棚田保全会員(個人、企業等)を募り、登録・派遣する仕組みづくりを支援する。
 - (1) 棚田保全活動会員の募集
農作業の手助けを継続的に行う個人・企業等の棚田保全活動会員(棚田ボランティア)の募集
 - (2) 保全活動の実施・広報
ボランティア参加型の保全活動の効果的実施や地元高校と連携し、事業の広報活動に活用するノボリ等の啓発資材や手引き等の作成
- 4 地域防災力の充実・強化 3 , 4 8 5 千円(P 33)
災害時に自らの命を守るための対応力・行動力を身につける講座を開催することにより、防災意識を高め、地域防災力の充実・強化を図る。
 - (1) 但馬防災サバイバル講座
講座、実践、グッズ展示